

◇ 教員免許更新講習シラバス(選択領域分)

講座内容についての問い合わせ先 kyomu@aogaki.nara-u.ac.jp(奈良大学)

講習名		主な受講対象者	時間	講習形態
日本近代文学の成立と展開		中高国語教諭	6H	講義
日程	定員	講師名(所属・職名等)		
平成30年8月7日(火)	30名	光石 亜由美(奈良大学・教授)		
会場				
奈良大学				
<b>【講習の概要】</b>				
日本が近代国家として出発すると同時に、「文学」も西洋のさまざまな思想を取り入れて「近代化」をおしすすめていった。この講義では、幕末から明治期の近代文学の流れを追うとともに、個別の作品を読みながら、日本近代文学の形成と変遷を考えたい。作家、作品、文学史の流れ、メディアなど、基本的な知識を身につける一方、作家や作品が、時代状況、文化状況の中にどのように位置づけられているのかも考える。とくに、家父長制、恋愛観、性愛観などの明治の精神史を背景に作品を読み解いてゆく。				
<b>【小テーマ①】 近代文学の黎明—坪内逍遙「小説神髓」</b>			1. 5H (担当講師: 光石 亜由美)	
講習形態	講義形式			
講習内容	幕末の戯作文学の流れ、近代文学初の小説理論書である『小説神髓』を概観することによって、日本の近代小説が成立する背景を考える。実学尊重の流れの中、どのように「小説」が「文学」の一つのジャンルとなってゆくのかを探ってゆく。			
到達目標・確認指標	戯作文学の流れ、『小説神髓』の内容を把握する。			
キーワード	戯作文学、坪内逍遙、小説神髓			
<b>【小テーマ②】 二葉亭四迷「浮雲」と近代小説</b>			1. 5H (担当講師: 光石 亜由美)	
講習形態	講義形式			
講習内容	二葉亭四迷『浮雲』を読む。『浮雲』は日本近代文学の嚆矢と言われるが、どこが新しいのか。文体、心理描写、時代背景などさまざまな角度から『浮雲』を読む。同時に、言文一致運動にも触れながら、近代小説の言語、ひいては近代日本語がどのように成立したのかも考える。			
到達目標・確認指標	近代小説としての『浮雲』の新しさを把握する。また、言文一致運動の内容についても把握する。			
キーワード	二葉亭四迷、浮雲、言文一致			
<b>【小テーマ③】 明治のベストセラーを読む</b>			1. 5H (担当講師: 光石 亜由美)	
講習形態	講義形式			
講習内容	明治のベストセラー『金色夜叉』と『不如帰』を読む。なぜ、『金色夜叉』『不如帰』は明治の人びとに広く愛されたのか。時代背景、メディアの問題、家父長制と女性の生き方等の問題とからめながら読んでゆく。			
到達目標・確認指標	日本近代とジェンダーの問題を把握する。文学とメディアの関連を把握する。			
キーワード	金色夜叉、不如帰、家父長制			
<b>【小テーマ④】 夏目漱石『こころ』を読む</b>			1. 5H (担当講師: 光石 亜由美)	
講習形態	講義形式			
講習内容	夏目漱石『こころ』における、「私」—お嬢さん—Kという三角関係の背景には、近代特有の〈恋愛〉と〈性〉をめぐる青年たちの苦悩が見え隠れする。近代の恋愛観、性愛観を背景に『こころ』を読み解いてゆく。			
到達目標・確認指標	近代の恋愛観、性愛観を把握する。			
キーワード	夏目漱石、こころ、恋愛			
試験方法	各時間は80分として、1日の最後に終了試験(40分)を実施する。			
成績評価の方法・基準等	100点満点の終了試験を実施し、60点以上を合格とする。			